

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火) 10:30～
- 2 場所 和光市立第四小学校 校長室
- 3 出席者 星谷 光市郎 谷 禮子 榎本 俊明 新井 悦子  
富澤 勝広 栗原 眞知子 福田 よう子 阿部 梢  
渡邊 丈裕(校長) 鎌田 ますみ(教務主任)

4 協議会内容

- ・2学期の学校教育活動報告
- ・全国・埼玉県学力学習状況調査結果検証
- ・令和6年度の学校評価
- ・今後の教育活動予定

5 質問・意見

質問「学校評価の項目は各学校によって違うのか」

学校「学校評価の項目は学校によって違い、本校では保護者・学校関係者・教職員の3者は同じ項目とし、総合的に評価できるようにしている」

質問「さくら連絡網の有効的な活用について」

学校「さくら連絡網の活用として、災害や事件等の急な事案に対しても瞬時にメールを送り、保護者や地域の方々に情報を迅速に周知する便利性をこれからも生かしていきたい」

質問「中学生の合唱を聞く機会があったということですが」

学校「小中連携で三中の3年生が本校の6年生に合唱祭で発表する合唱を歌ってくれたり、また幼・保・小の連携で本校の1年生が市内3つの保育園の園児と遊び交流をしたりする活動を行った。この活動で少しでも小1プロブレム、中1ギャップの解消に役立つことを期待している」

質問「不登校対策やいじめ問題についてどう取り組んでいるか」

学校「不登校対策として学区内の南公民館で行われているあすなる4(適応指導教室)等の関係機関を周知し、解決に向けて取り組んでいるところであるが、家庭の協力、支援が必要不可欠な現状である。いじめ問題に関しては教職員が常にアンテナを高くし、生活アンケートを毎月実施していることを通して、早期発見、早期対応に努め、児童が楽しく学校生活を送れるように教職員間で情報を共有している。」

質問「学校と地域のつながりを今後も深めていきたいが」

学校「学校行事等では地域の教育力を活用して、今後も人材バンク、地域学校協働本部、第四小学校区地区社会協議会等との関係機関と連携・協働しながら、開かれた学校づくりに努めていきたい」

質問「以前あった特色ある学校づくりのための予算はあるのか」

学校「現在は0である。「和光市まちづくり寄附金で第四小学校応援しよう」という企画に応募し、古くなった楽器の修理代や不足している楽器の購入に協力していただくよう要請しているところである」

質問「全国、埼玉県の学力・学習状況調査の結果について」

学校「結果を検証してみると学力調査は平均値を上回っている。しかし、規律ある態度の調査は「整理整頓」「学習準備」「話を聞き発表をする」が下回っている。学習規律で十分に身につけていないことは本校の重点課題として継続して指導していく」